



97th Regular Concert

“We're Walkin'”

6月7日(土)

読売ホール

明治大学ハーモニカ ソサエティー

御 挨拶



部 長
北 島 忠 男



O B 会 会 長

今年は1980年代に入るといので、年の初めからその展望やら意義づけやらがとり沙汰されてきました。その後、アフガニスタンやイランで紛争が起き、また、モスクワ・オリンピックのボイコット運動が起きたりして、複雑な国際問題が現実の姿をとって、われわれにいろいろと問いかけております。そのせいか、今年は冬が遅くまで居残って、5月になっても肌寒い日がありましたが、ようやく緑につつまれた初夏のたたずまいがととのいました。

こうした激しく揺れ動く内外の政治・経済状勢のなかで、明治大学ハーモニカ・ソサエティーは、今年も春の定期演奏会を開催することとなりました。これも音楽にひと刻の憩を求める人びとの努力とご声援の賜と深く感謝しております。われわれの音楽演奏と共に初夏の宵を過ぎることが、少しでも皆様の明日への活力の糧となれば、望外のよろこびと存じております。(北島忠男)

我、明治大学ハーモニカソサエティーは創立以来97回と云う定演を重ね、世界ハーモニカ界でも類例のない事で光輝ある歴史と伝統を連綿として受継ぎ今春新たに新入部員14名を迎え洵に同慶に絶えない次第であり、旧部員の溢れる様な熱情にとけこみ必ず見事な開花をもたらす事と思われます。

振り返れば初代部長の大田黒敏男、二代目佐伯好郎、三代目林久吉、四代目北島忠男の諸先生の温き庇護の下に育成され、筆者も前記四先生とは熟知の間柄であり、現部員も以上の先生の意を体して見事な立派な演奏あらん事を期待して止みません。

御来場の皆様には最後まで御観賞あらん事を願い今後共益々御声援あらん事を願います。

O B 会々長 (布施莊兵衛)

第97回定期演奏会の開催、誠にめでとうございます。今、音楽の流れは大きく変貌しようとしております。その中で長い伝統を受け継ぎつつ更に新たな歴史を創り出すべく常に活発な活動をしておられる貴クラブは私共4大学の目標であります。今宵の演奏会の成功を一同心よりお祈り申し上げるとともに、今後もお互いよきライバルとして技を競い限りない可能性を追求し発展されることを願ってやみません。

文責・中央大学 早・立・中大学ハーモニカソサエティー

木々の緑がますます美しく、微風が心地よく吹く中にも初夏の足音が感じられる季節となりました。今日この良き日に、貴明治大学ハーモニカ・ソサエティーが、第97回定期演奏会を盛大に開催されますことを、マンドリン倶楽部一同心からお慶び申し上げます。同じ明大に集う若人として、また同じ音楽を愛する者として貴クラブの今後の御活躍と御発展をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

明治大学マンドリン倶楽部

今日は、御忙しい中、明治大学ハーモニカソサエティー第97回定期演奏会において頂き誠に有難うございます。私達は歩き続けています。そこには山もあり、谷もあり、岐れ路もあります。そして、その歩みは、人ひとりひとりによって違うかもしれません。しかし、私達には音楽があります。それを通して一緒に歩める音楽があるのです。未熟な演奏ではありますが、もしこの2時間余り、我々と皆様が演奏を通して一つになり、一緒に歩いていけたら、そして、心から楽しんで頂けたら、とても幸いです。

末筆ながら、この演奏会を聞くにあたり、御協力・御尽力頂きました各方面の方々、本当に有難うございました。

明治大学ハーモニカソサエティー

幹事長 守屋 誠

東京  **学生割引**

コンタクトレンズ

◆高田馬場 209-4646 ◆新 宿 348-4646
◆池 袋 985-4646 ◆澁 谷 409-0005

We're Walkin'

行きかう電車と、人々の群れから東京の朝は始まる。

彼もその一人。音楽を愛し、ハーモニカで自分を表わしたいと思っている大学生。ニューヨークで musician として生きる事を、夢見、そこでなら自分の本当の力が出せるものと思っ
てはいるものの、今は、ただ漫然と日々が過ぎてゆくばかり。

そんなある日、出会ったのが昔の仲間たち。そして、その中につきあっていた女の子もいた。彼の頭の中を、彼女と過ごした日々がよぎる……。

仲間たちと夕暮れの町へとくり出し、昔話今の生活、そして将来の夢へと話しが広がった。

彼らとわかれて一人。はしやぎすぎてしまったと感じながら、眠りへとおちていった。その晩、彼は夢を見た。ニューヨークの街そのものに音楽を感じ、ハーモニカで歌っている自分がいた。

しかし、夢はいつかはさめるもの。彼は、現実に引き戻され、そこで、ただ日々を送っている、今に滞まっている。自分に気がつき、もっと active に新しい朝にむかって行こうと思うのであった。

ゲスト

プロフィール

宮城純子さん

東京生れ。国立音大ピアノ科を卒業。市川秀男、佐藤允彦にジャズを学ぶ。「スクエア」のキーボード・プレーヤーとして、その3作目『Make Me A Star』まで活躍していた。現在は都内のライブ・スポット及びスタジオ等で、そのサウンドを聞かせてくれ、特にアコースティック・ピアノでのタッチの美しさには定評がある。最近人気のフュージョン・キーボード・プレーヤー笹路正徳氏の奥様でもある。参加レコード：「スクウェア I」、「同 II」、「同 III (Make Me A Star)」、「フュージョン・ギター」 etc.



Good Harmonica!



New Sound —
FOLK ROCK BLUES Feeling!

フォーク・ブルース (12調子) ￥1,500
コードハーモニカ8 (16コード) ￥7,800
オクターブバス ハーモニカ ￥12,000

株式会社 トンボ楽器製作所

〒335 埼玉県戸田市下戸田 2-12-27 TEL.0484-(45)-6161 営業部

